



#### お手入れ 安全のために電源を切ってからお手入れを行ってください

明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃してください。  
●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



●リモコンの送信部は定期的に汚れをふき取ってください。ほこりなどにより、汚れるとリモコンが効きにくくなります。

長期ご使用の場合は、商品の自主点検をおすすめします。

**愛情点検** こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。
- 本体や配線部品を動かすと点滅する。
- こげ臭いにおいがする。
- 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。
- 器具取付部などに変形、ガタツキ、ゆるみなどがある。

**ご使用中止**

故障や事故の防止のため電源を切り、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

- 上記症状以外でも不具合があれば、販売店などの専門家にご相談ください。

**使用方法のご相談など【お客様相談センター】**

おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間 日・祝及び年末年始を除く午前9時～午後5時

固定電話、FAXからは、フリーダイヤル

0120-508-562

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570-550-189

形名	DL-AC304V	DL-AC204V
使用電圧	100V	
周波数	50/60Hz共用	
消費電力	42W	32W
光色	寒色、暖色	

本機は50Hz、60Hzいずれの地域でもご使用できます。  
待機時消費電力の削減について  
この製品は、壁スイッチ「入」で本体コネクターをソケットに差し込んだ状態では、電子回路を動作させるために、約1Wの待機時消費電力を消費しています。省エネルギー推進のため、ご使用にならないときは、壁スイッチで電源を切ってください。

#### ご使用上に関するお知らせ (故障ではありません)

- 本体の留意点/注意点**
- 点灯中や消灯直後、プラスチック伸縮によるきしみ音(ピシッ、パキッ)が本体から発生することがあります。
  - 非常に短い停電があると、点灯状態が変わることがあります。
  - LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 周囲の影響**
- 本体の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
  - 近すぎる場所にあるリモコン機器のリモコンが動作しにくくなる場合があります。
  - 天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。
  - 写真や動画を撮影するとき、本体を写し込むと縞模様が出る場合があります。

## 故障かな？

こんなとき	お調べください
点灯しない。	●壁スイッチが「切」になっていませんか？ ↳ 壁スイッチを「入」にしてください。 ●コネクターが確実に接続されていますか？ ↳ コネクターが確実に接続されているか確認してください。
点灯ボタンで、常夜灯にならない。	●点灯ボタンでは、寒色～暖色での点灯状態のみ再点灯させることができます。
操作していないのに点灯(消灯)する。	●瞬時停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り変わった可能性があります。一度リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り換えてください。
リモコンが効かない。	●リモコンの電池が消耗していませんか？ ↳ リモコンの電池を新しいものに交換してください。 ●リモコンの電池が正しく入っていない。 ↳ リモコンの電池が正しく入っているか確認してください。 ●リモコンと本体のチャンネルが合っていない。 ↳ リモコンのチャンネルと本体のチャンネルが合っていることを確認してください。
タイマーが動作しない。	●壁スイッチで消灯していませんか？ ↳ タイマーを設定するときは壁スイッチで消灯しないでください。
本体からジーという音が出る。	●LEDに流れる電流の「入/切」制御により調光していることに依ります。正常な動作です。
特殊なメガネ(3Dテレビ用など)をかけて、本体を見るとちらつく。	●故障ではありませんが、特殊なメガネ(3Dテレビなど)で本体を見ると、ちらついたように見える場合があります。 ↳ 目の疲れや体調不良などの原因になることがありますので、特殊なメガネ(3Dテレビ用など)をかけたまま、本体を見ないでください。
リモコンで消灯しても停電後に勝手に点灯する。	●壁スイッチが「入」になっていませんか？ ↳ あらかじめ停電が想定される場合は、壁スイッチを「切」にしてください。 リモコンで消灯した状態で停電した場合は、消灯直前の状態で点灯する仕様です。(リモコン操作では、停電復帰を消灯にすることはできません)壁スイッチを「切」できない(壁スイッチが無い)場合は、停電の事前に常夜灯にして、リモコンで消灯しておくことをおすすめします。停電からの復帰後、常夜灯で点灯します。(消費電力を少なくできます)

## よくあるご質問

ご質問	お答えします
Q 人感スイッチと組み合わせて使えますか？	A ●人感スイッチについては仕様が適合しない場合がありますので、ご注意ください。
Q 調光器で使えますか？	A ●使用できません。
Q 「寿命」はどのような基準で決められていますか？	A ●本製品の「光源寿命」《約40,000時間》は、光束が70%に低下するまでの時間です。※寿命は設計値です。保証値ではありません。
Q 廃棄するときはどうすればいいですか？	A ●廃棄方法は自治体毎に異なりますので、お住まいの地方自治体の規定に基づき処分願います。
Q LEDの交換はできますか？	A ●本体の分解修理が必要ですので、点検を依頼してください。お客様自身での交換はできません。

# SHARP

## LEDシーリングライト

### 取扱説明書 住宅設備用

形名  
ディーエル エーシー      ファイ ディーエル エーシー      ファイ

# DL-AC304V/ DL-AC204V

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。この取扱説明書は、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

- 人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。
- 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。
- 警告** 「死亡、または重傷を負うおそれがある」内容。
- 注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。
- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。
- ⊘ してはいけないこと。      ! しなければならないこと。
- 警告** 火災や感電、けがを防ぐために
- 凹凸のある場所に取り付けない。(落下のおそれ)
  - 傾斜した場所に取り付けない。(落下のおそれ)
  - がたついたり、破損している配線器具には取り付けない。
  - 本体を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものに近づけない。(火災・本体過熱のおそれ)
  - 被照射物と本体は50cm以下に近づけない。とくに絹、皮、布地など「色落ち」のおそれがあるものに照射する場合は、注意が必要。(被照射物の火災、変形、褪色の原因)
  - 本体を改造したり、部品交換をしない。
  - 本体のすき間に金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。

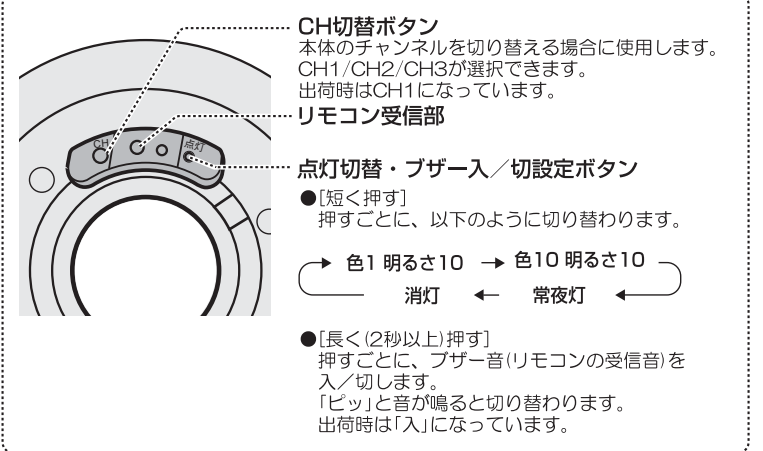
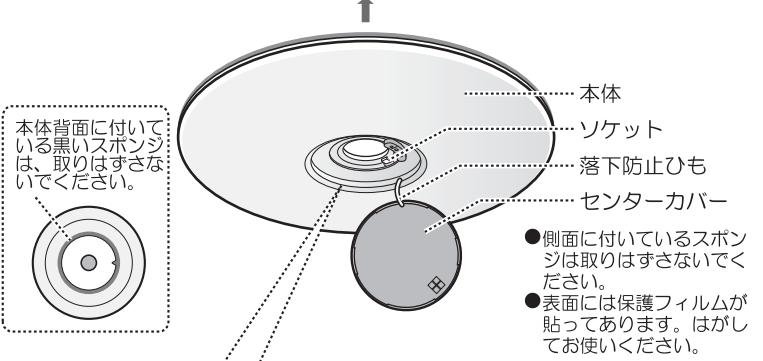
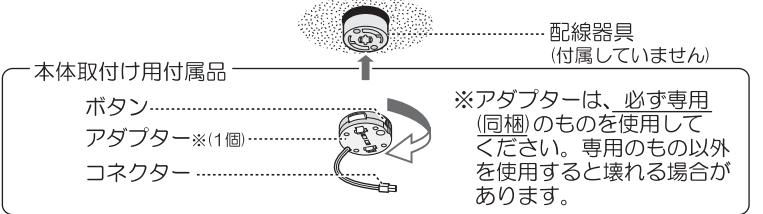
- 交流100Vで使用する。(過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれ)
- 異常・故障時は直ちに使用を中止する。(速やかに電源を切り、お買いあげの販売店へ点検・修理を依頼してください)
- 調光機能が付いた壁スイッチの場合、使用できませんので、一般の入/切スイッチに交換する。
- 取り付け、取りはずしや清掃のときは、必ず電源を切る。(感電のおそれ)
- 煙、臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切る。(感電・火災の原因)

## 注意 漏電やけがを防ぎ、家財を守るために

- 点灯中や消灯直後しばらくは、本体が熱いので触れない。(やけどのおそれ)
- 本体の一部が破損したまま使わない。(火災・感電・落下、けがのおそれ)
- 屋外で使用しない。
- 本体をクレンザーやたわしで磨かない。(傷付けたり、サビの原因)
- 本体を洗剤や薬品などで拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。(本体の破損・落下・感電などの原因)
- 本体の下に温度の高くなるもの(発熱物)を置かない。(火災・落下・本体の変形・LED短寿命のおそれ)
- この製品は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。
- 湿気の多い場所や水のかかる場所で使用しない。
- 本体を水洗いしない。(感電・故障の原因)

- 照明器具(本体)には寿命があります。設置して10年経つと外観に異常がなくても、内部の劣化は進んでいます。長期ご使用の場合は、安全のため点検・交換をおすすめします。
- アダプターは「カチッ」と音がするまで回し、確実に固定する。
- アダプターに本体を確実に固定する。

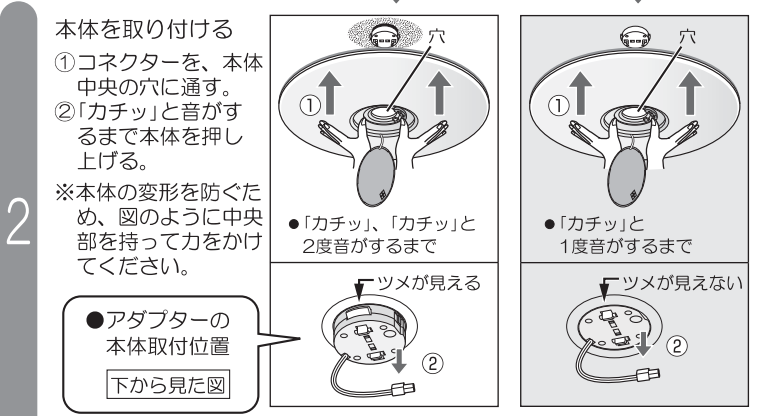
## 各部のなまえ



## 設置説明 安全のために壁スイッチを切った状態でおこなってください

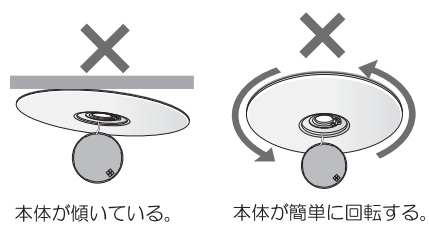
準備

天井からの出しろが22mmの配線器具	天井からの出しろが11mmの配線器具
丸形フル引掛シーリング	フル引掛ローゼット
角形引掛シーリング	丸形引掛シーリング
	引掛埋込みローゼット(ハンガーなし)



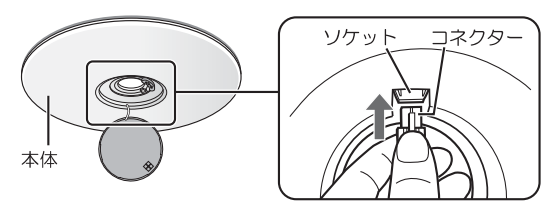
確認

本体が正しく取り付けられているか確認する  
正しく取り付けられていない場合は一度取りはずしてから、再度取り付け直してください。  
取りはずす際は本体をしっかり持ってください。(落下してケガの原因になります)



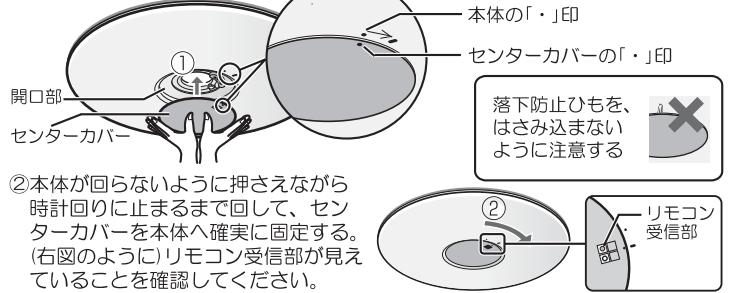
コネクターをソケットに差し込む

「カチッ」と音がするまで確実に差し込む。(ロックがかかっていることを確認してください)  
※コネクターが確実に挿入されていないと発煙・発火のおそれがあります。



センターカバーを取り付ける。

①センターカバーを本体中央の開口部に合わせて、すきまが無くなるように、ぴったり押し付ける。



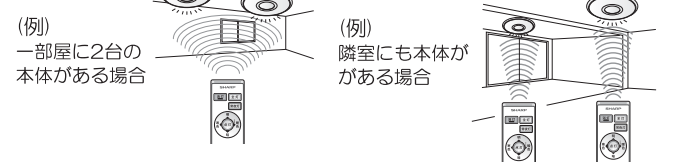
②本体が回らないように押さえながら時計回りに止まるまで回して、センターカバーを本体へ確実に固定する。(右図のように)リモコン受信部が見えていることを確認してください。

リモコンのチャンネルを設定する 複数の本体を操作できます

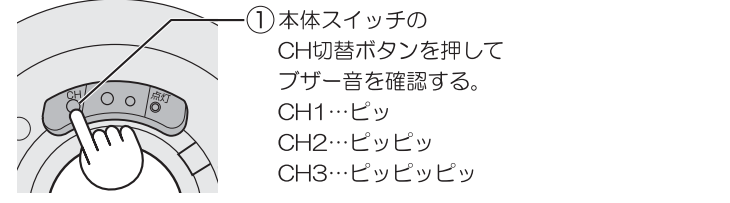
チャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。(ただし、設置場所やリモコン操作場所により、同時に信号が届かないことがあります。その場合は別々に操作してください)

チャンネル設定でできること

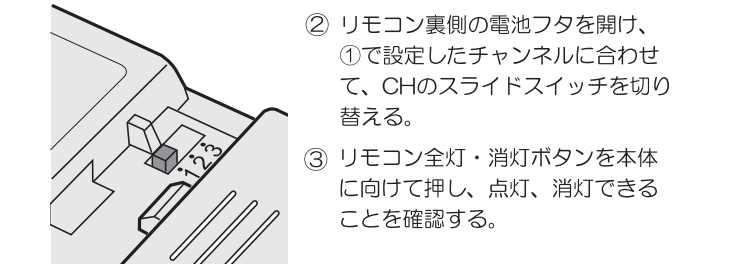
- 複数の本体を同時に点灯できます。
- 近くの本体を干渉せずにそれぞれ単独で点灯できます。



チャンネルの設定方法



チャンネルの確認方法



リモコンで本体を操作する

壁スイッチは「入」の状態にしてください。

送信部

点灯状態を記憶して消灯します。

- 記憶される点灯状態
  - ・寒色～暖色での点灯
  - ・記憶されない点灯状態
  - ・おやすみリズム

調光10 (100%の明るさ) で点灯します。一部のLEDが点灯します。光色を10段階で調節できます。

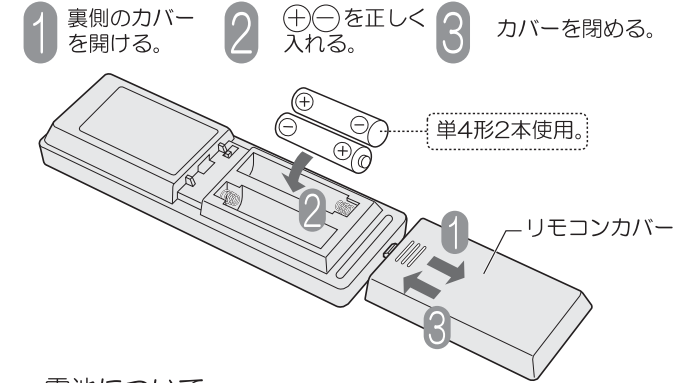
記憶している前回の明るさと色で点灯します。

明るさを10段階で調節できます。常夜灯は5段階で調節できます。

エコ調光をオン/オフします。留守中に自動で点灯・消灯します。

おやすみリズムをオン/オフします。消灯する予約ができます。(60分後、固定)

電池の入れかた



電池について

- 電池の寿命は、約1年です。(1日10回ボタン操作した場合) 使用する電池や条件により、1年未満で消耗することがあります。信号が届かないときは、交換してください。※付属の電池は、お試用です。上記よりも早めに切れることがあります。
- 電池を誤って使うと、液漏れや破裂の原因となりますので、次の点にご注意ください。
  - ・交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使う。
  - ・長期間使わないときは、電池を取り出す。(液漏れによる故障防止)
- 電池の溶液が目に入ったり、お肌や衣服に付いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

- ご注意
- リモコンに衝撃を与えたり、水にぬらしたりしないでください。また、直射日光の当たる場所、ストーブなどの近くには置かないでください。(故障の原因)
  - 電子瞬時点灯方式の蛍光灯(インバーター方式、ラピッドスタート方式など)がある部屋では、信号を受け付けられないことがあります。この場合は、販売店にご相談ください。

リモコンを本体に向けて操作してください。

信号を受けると受信音がします	
受信音	お知らせしている内容
ピッ	点灯するとき。操作を受け付けたとき。
ピー	消灯するとき。設定をオフしたとき。
ピッピ	明・暗、寒色・暖色の調節が限界に達したとき。
ピッピッ	留守モード、切タイマーをオンしたとき。
ピーッ	留守モード予約中に消灯ボタンを押したとき。

エコ調光 目の順応特性を考慮してゆるやかに照度を落とします

エコ調光をオンにすると、すぐにゆるやかに照度が落ちていきます。個人差によって暗く感じる場合があります。暗く感じる場合はエコ調光をオフにしてお使いください。

オン

エコ調光

本体のブザー音が「ピッ」と鳴ります。

オフ

設定中にエコ調光

本体のブザー音が「ピー」と鳴ります。

ご注意

- 消灯してもエコ調光の設定は保存されます。
- 常夜灯、おやすみリズム、留守モードのときはエコ調光を利用できません。
- ブザー音を「切」に設定した場合は、エコ調光ボタンを押したときは、必ずブザー音が鳴ります。

おやすみリズム おやすみまで自動で調光をおこないます

明るさをおさえた調色10(暖色)で点灯し、徐々に暗くしていきます。

- 自動調光の時間は60分で固定です。光色も調色10で固定です。
- 自動調光が終了した後は、常夜灯が点灯します。

おやすみ後に常夜灯を消灯させたい場合は、切タイマーを併用してください。

オン

おやすみリズム

本体のブザー音が「ピッ」と鳴ります。

- 明るさを抑えた調色10で点灯し、徐々に暗くしていきます。
- 60分後に常夜灯が点灯します。(おやすみリズム開始後～常夜灯が点灯するまでの時間は、60分で固定です)
- 切タイマーと同時にオンして、60分後に常夜灯を消灯させることもできます。

オフ

設定中に おやすみリズム

本体のブザー音が「ピー」と鳴ります。

- おやすみリズムをオンにする前の点灯状態に戻ります。

ご注意

- おやすみリズム運転中は、エコ調光ボタンは効きません。
- おやすみリズム運転中は、明・暗、寒色・暖色の調光、調色操作はできません。
- おやすみリズム運転中に、壁スイッチを「切」にして「入」にすると、前回の明るさと色で点灯します。
- おやすみリズムの自動調光の時間(60分)は固定で、設定変更することはできません。

壁スイッチで本体を操作する

「入」

点灯

記憶している「前回の明るさと色」で点灯します。

「切」

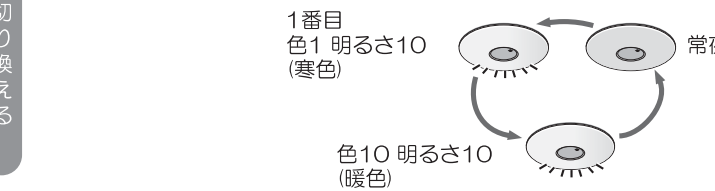
消灯

「現在(消す直前)の明るさと色」を記憶して消灯します。

ただし、おやすみリズム中に消灯した場合は、記憶している「前回の明るさと色」で点灯します。

点灯状態で壁スイッチを素早く(約2秒以内)切→入すると、点灯状態が下図のように切り換わります。

スタートは必ず、調色1明るさ10(寒色)になります。(但し消灯時は、消灯前の状態で点灯)



留守モード

あらかじめ予約した時刻(留守モードオンの10時間後)から自動で点灯・消灯します。留守中や帰宅が遅くなったときでも、自動で点灯・消灯をくり返しますので、在宅しているように装えます。

留守モード

- 本体のブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。※
- 10時間後(固定)に調色1、明るさ5で自動点灯し、その後6時間後(固定)に、自動で消灯します。その後、留守モードを解除するまで、毎日同じ時刻に点灯、消灯をくり返します。

予約中に留守モード

- 本体のブザー音が「ピー」と鳴ります。※

※ブザー音を「切」に設定している場合も、必ずブザー音が鳴ります。

- ご注意
- 一度予約すると解除するまで、毎日くり返します。
  - 点灯時の色(調色1)や明るさ(明るさ5)は固定です。設定変更はできません。
  - 初回の点灯開始までの時間は10時間で固定です。設定変更はできません。
  - 点灯～消灯までの時間は6時間で固定です。設定変更はできません。
  - 切タイマーと同時に予約することはできません。留守モードをオンにすると、切タイマーがオフになります。
  - 予約後に一度でも壁スイッチを「切」にすると、留守モードは解除されます。
  - 留守モードの初回の点灯開始後(留守モードオンの10時間後以降)にリモコン操作すると留守モードは解除されます。
  - 留守モードをオンしてから、10時間後の点灯開始までの間は、リモコンで別の操作をしても、留守モードは解除されません。

切タイマー 60分後(固定)に自動的に消灯する機能です

タイマーは1回だけ動作します。くり返すときは、その都度予約が必要です。

オン

切タイマー

本体のブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。※

- 60分後に消灯します。

オフ

予約中に切タイマー

本体のブザー音が「ピー」と鳴ります。※

※ブザー音を「切」に設定している場合も、必ずブザー音が鳴ります。

- ご注意
- 留守モードと同時に予約することはできません。切タイマーをオンにすると、留守モードがオフになります。
  - 消灯するまでの時間は、60分で固定です。設定変更することはできません。

取り外し手順 安全のために壁スイッチを切った状態でおこなってください

1

センターカバーをははずす。

① センターカバーを反時計回りに回す。

② 取りはずす。

ご注意

- センターカバーの取りはずしは、電源を切って十分に時間が経ってからおこなってください。(やけどのおそれがあります)

2

コネクターをははずす。コネクターを抜く。

ご注意

- コネクターの取りはずしは、電源を切って十分に時間が経ってからおこなってください。(やけどのおそれがあります)

3

アダプターのレバーを外側に押し、本体をははずす。

ご注意

- 本体をしっかりを持った状態で取りはずしてください。(本体が落下してケガの原因になります)

両手でしっかり本体を支えながらレバーを外側へ押し。

本体の重量を受け取るため、両方の手のひらでしっかり支える。

本体は重量があります。レバーを押すときは、十分ご注意ください。